

出資金純増1億円達成しよう!

あかるいまち21

No.893号 2016年2月6日 組織部 TEL082-532-1264

	2月	4月～1月
組合員ふやし	23人	1,181人
出資金ふやし	298万円	1億1,968万円
純増	138万円	6,205万円

2月～3月、生協組織建設を進める「ラストスパート月間」に取り組みます。各支部・各事業所が立てた年間目標達成に向けて頑張ろう!

けんこうチャレンジ始動

広島県生協連で主催し、県内3医療福祉生協が共催した「けんこうチャレンジ2015」のまとめと次年度に向けた実務者会議を開催しました。2015年の取り組みでは、全体で3,803名の申込みがあり、2,274名の方から報告を頂きました。



実務者会議には、県生協連や生協ひろしま、3つの医療福祉生協の他、オブザーバーとして広島県健康福祉局の方や、JA 広島中央会の担当の方の参加があり、活発な意見交換をすることが出来ました。2015年の教訓を活かし、この取り組みを大きく広げていきたいと思えます。

いのちの章典実践交流会・・・協同・魅力・再発見



1月29日「『いのちの章典』実践交流会」(主催：生協利用委員会)を開催しました。雨模様の中でしたが、組合員と職員とで78名の方に参加していただきました。「いのちの章典」は、憲法をもとに人権が尊重される社会と社会保障の充実をめざす、私たちの権利と責任を明らかにしたものです。

集会前半では、7人の方から演題発表を受けました。

ボランティアの会や利用委員会が事業所と協力して、安心して病院・診療所を利用できるような環境を作っている実践や、地域でのたすけ合いの活動・新福島生協病院の回復期リハビリテーション・認知症カフェの紹介など、心あたたまる実践の報告ばかりでした。後半のグループ討議では、新しくなった福島生協病院に入院してとても快適で退院したくなかったという方などもおられ、参加者の「協同の力」で、多くの方が参加して良かったという集会にできました。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

